

事業活動温暖化対策計画に関する事項

新規  変更

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都港区赤坂九丁目7番1号ミッドタウン・タワー				
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 代表取締役社長 カリン・ドラガン				
事業概要	製造業		飲料・たばこ・飼料製造業		
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/>	熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用事業者)	前年度の原油換算エネルギー使用量	4,121	kl
	<input type="checkbox"/>	熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)	県内登録の自動車数		台
	<input type="checkbox"/>	特定事業者以外の事業者			
計画期間	2021 年度 ~ 2025 年度				
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針	事業活動を行うにあたり、気候変動の緩和を考慮することは非常に重要な課題です。二酸化炭素(CO2)に代表される温室効果ガス排出量を「見える化」することによって、多くのステークホルダーとともに、温室効果ガスの排出実態および対策情報などを把握・共有し、削減につなげるコミュニケーション手段としていきます。				
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制	環境マネジメントシステムを確立し、推進を図る。				
	環境マネジメントシステム名称	ISO14001	適用範囲	熊本工場	取得年月日 #####
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷暖房設定温度の管理徹底</li> <li>・生産設備洗浄工程の改善</li> <li>・省エネ機器の活用(インバーター、省エネポンプ)</li> <li>・省エネ・省水プロジェクトによる改善</li> </ul>				
温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標	温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(A) (2020)年度	前年度の実績 ( )年度	目標年度(B) (2025)年度	増減率 ((B-A)/A)
		6,329 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	6,013 t-CO <sub>2</sub>	△ 5.0 %
	原単位温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(C)	前年度の実績	目標年度(D)	増減率 ((D-C)/C)
		0.037 原単位 当たり t-CO <sub>2</sub>	原単位 当たり t-CO <sub>2</sub>	0.035 原単位 当たり t-CO <sub>2</sub>	△ 5.0 %
原単位の考え方		生産液量1KL当たりのCO2排出量			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LED照明設備の導入(熊本工場、平成30年実施)</li> <li>・LED照明設備の導入2期目(熊本工場、令和元年実施)</li> <li>・省エネ機器導入(省エネ空調機への更新、令和元年)</li> <li>・スチームドレン回収設備導入(令和元年実施)</li> <li>・省エネ生産設備の導入(令和元年)</li> </ul>				

- 備考 1 のある欄には、該当する内に「レ印」を記入してください。
- 2 「計画期間」は、提出する日の属する年度以降5か年度以内の期間を設定してください。
- 3 「基準年度」とは、原則、計画期間の前年度としますが、事業者が定める地球温暖化対策に係る計画において別に定める基準年度がある場合は当該年度を基準年度とすることができます。この場合、計画期間の前年度の実績を「前年度の実績」欄に記入してください。  
「目標年度」とは、計画期間の最終年度をいいます。
- 4 温室効果ガス算定排出量の対象とする温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素とします。
- 5 原単位による目標を設定する場合は、「原単位温室効果ガス算定排出量」欄を記入してください。  
「原単位の考え方」欄には、温室効果ガス排出量の抑制に係る取組等が適正に反映されると考えられる指標(生産数量、延べ床面積等)や設定に係る考え方等を記入してください。
- 6 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。